

会 議 録 (要点記録)

令和5年度 第2回和光市食育推進コンソーシアム会議

開催年月日・召集時刻 令和6年3月19日 午後1時30分

開催場所 和光市健康増進センター2階多目的室

開会時刻 午後1時30分

閉会時刻 午後3時00分

出席委員

事務局

別紙1参照	健康部健康支援課長	細野 千恵
	健康部健康支援課長補佐	飯田 真子
	健康支援課管理栄養士	平原 麻美
	健康支援課管理栄養士	大脇 理恵

欠席委員

別紙1参照

備

考

〈次第〉

- 1 開会
- 2 課長挨拶
- 3 議事
 - ①第三次和光市食育推進計画中間見直し報告について
 - ②今年度の食育の取組について
 - ③来年度の食育の取組内容について
 - ④その他
- 4 閉会

発言者	
司会（飯田課長補佐）	<p>本日はお忙しい中、多数の方にご出席いただきましてありがとうございます。会議の開会に先立ち、本日の配布資料について確認をさせていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 和光市コンソーシアム会議次第 2) 出欠名簿 3) 資料 1 令和 5 年度第 2 回和光市食育推進コンソーシアム会議 資料 1 和光市食育推進店普及促進実施要領 資料 2 わびあ食堂実施報告 資料 3 2023 年度自治体との健康増進等イベント開催状況 4) 食育推進コンソーシアム会議アンケート 5) わがまちインフォ <p>を配布させていただいております。資料はお手元にごございますでしょうか。それでは只今より第 2 回食育推進コンソーシアム会議を始めさせていただきます。会議録作成のため録音をさせていただきます。発言の際はお名前をおっしゃってくださいますようお願いいたします。また、録音した音声は会議録作成後に消去いたします。本日司会をつとめさせていただきます、健康支援課飯田と申します。どうぞよろしく願いいたします。それでは次第に従いまして進行させていただきます。開会にあたり、健康支援課課長の細野よりご挨拶申し上げます。細野課長よろしく願いいたします。</p>
細野課長	<p>皆様こんにちは。健康支援課課長の細野と申します。本日は年度末のお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。本日は今年度の様々な取り組みについてご報告させていただきたいと思っております。振り返ってみますと、こういった場での意見交換や日常の色々なコラボの事業に声をかけていただきましたことで、改めて新たな事業展開に恵まれた一年だったことに感謝申し上げます。本日は新たにコンソーシアム会議にご参加くださった方もいらっしゃいますので、ご紹介もさせていただきながら来年度に向けてさらなる取り組みが深まる意見交換になると思っております。今日はどうぞよろしく願いいたします。</p>
司会	<p>それでは本日の出欠についてですが、お配りしました出欠名簿となっております。本日事前のご連絡を頂戴しておりますのが、労働協働組合ワーカーズコープセンター事業団 南児童館 高橋様から欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>では、議事に入らせていただきます。議事 1 と 2 について担当より説明させていただきます。</p>

管理栄養士 平原

食育を担当しております平原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。

スライドが後ろ向きの方は見えづらいと思いますが、お手元の資料と合わせてご確認いただけたらと思います。まず、第三次和光市食育推進計画中間見直しについてご報告いたします。

この食育推進コンソーシアムは和光市食育推進計画に基づき、実施しているものとなりますので、コンソーシアムに関わる部分のご説明を重点的にさせていただきます。

3P から 5P につきましては、前回の会議でも少し触れておりますので、割愛させていただきます。後ほどご確認ください。

6P をご覧ください。絆調査より食塩摂取量についての結果です。現在、国の食事摂取基準での目標値は、男性が 7.5 g、女性が 6.5 g となっているのに対し、全体の 9 割以上が基準を超えています。和光市の平均値は 9.9 g と、国・県の平均とほぼ同じですが、若年層・中年層の男性の結果を見ますと一番多い結果で 15 g という数字が出てきています。全体的に、女性よりも男性の摂取量が大幅に多くなってきていることが課題となっています。7P は割愛させていただきます。

8P をご覧ください。つづきまして、スーパーやコンビニ、デリバリーでの惣菜や弁当購入の利用についてです。若年層の利用は半数と多く見られます。また、購入する際に健康を意識した商品を積極的に選ぶ割合は、25%程度、時々選ぶは半数程度となっており、食育認定マークの掲示やポップなどで商品に目がいきやすくするなど、健康に配慮した商品を手にとりやすくする工夫が必要だと考えられます。

9P をご覧ください。次に、野菜料理を 1 日に何皿食べるかという問です。この調査では、1 皿 80 g ですので、5 皿以上と回答した割合が 1 日の目標量を満たしているということになります。グラフからみると、どの世代も基準を満たしているのは、全体の 5%程度。特に若年層、中年層の男性が非常に少ない割合です。平均にすると、133.6 g と国が推奨する 350 g はなかなか遠い結果となりました。

10、11P は割愛させていただきます。

12P をご覧ください。続きまして小学 5 年生、中学 2 年生の朝食の欠食についてです。小学生では、9 割以上ほぼ毎日食べているという回答でしたが、週 3 以下になってしまっているという回答が少数ですがありました。

中学生では、毎日食べるという回答は小学生より少し減っており、週 3 以下という回答も増加しています。その理由として、食べる時間がないという回答が半数ほどですが、一部、家族がつくってくれ

ない、太りたくないという回答も見られました。また、記述では気になる回答として、「用意するのがめんどくさい」「買ってきてくれない」というものがありました。

13P をご覧ください。続いて、家族との朝食・夕食の共食についてです。こちらの回答は、14P に表にしましたのでご確認ください。朝夕どちらも家族と食事をするという回答が最も多く見られましたが、その一方で、少数ではありますが、小中ともに週に一度も食事をしないという回答も見られました。

15P は後ほどご確認ください。16P をご覧ください。16P は、良い食生活を送っているかの間に加え、どのような食生活が良い食生活だと思うかという質問を入れました。多くが、3食食べることや栄養バランスの良い食事、共食という回答でしたが、番外編で面白い回答もありましたので、後ほどご確認ください。

17P をご覧ください。こちらは、食について困っていることについての質問です。お母さんの料理がいつもおいしくて困るという心温まる回答もみられました。多くが好き嫌いや小食についてでしたが、家族で一緒に食べていても楽しくないという回答も見られました。これらの調査およびアンケート結果については、追って市 HP で公表予定ですので、その際にはぜひご確認くださいと思います。また、小中アンケートについては、学校教育課とも結果と課題の共有をいたします。

18P に進みます。和光市の現状をふまえ、施策を5つに見直しました。その中で、施策3 地域一体型の自然に健康になれる食環境づくり、こちらが、食育推進コンソーシアムに関わるものとなります。この食環境づくりは、横断的に進めていくものとし、施策1、2、4、5に絡めながら進めてまいりたいと考えております。毎回のご説明になりますが、食育推進コンソーシアムについては、19P に記載しておりますので、今一度ご確認ください。

20P に進みます。少し見にくいのですが、事業展開について記載してあります。現状進めているものを改めて記載するとともに、新たな取組としてちょこっとプラス（果物・野菜）プログラムというものを追加しました。先ほどの調査結果からもわかるように、国が目指す1日350gにはまだまだ遠い、133gと、国の1/3程度の摂取量という現状がありますので、まずはちょこっとプラス野菜で小鉢1つ分の70g～100gを普段の食事に追加しようという周知を強化し、平均値200gをいったん目指していきたいと考えております。

21P では、今回より目標値の設定をしております。その中で、下3段、コンソーシアム構成員、推進店の増加、推進店・認定マークを認知している市民の増加を目標にいたしました。中間見直しについ

ては以上になります。

22Pに進みます。続きまして今年度の食育の取組についてご報告いたします。

23Pに進みます。今年度も認定マーク掲示につきまして、イトーヨーカドー和光店様、いなげや和光新倉店様にご協力いただきました。また、年2回の商品の確認作業では、地域活動栄養士会えぷろんの皆様にご協力をいただいております。

1品1品の確認作業を丁寧にみてくださり、本当にありがとうございました。また、スーパー様でも、商品入れ替えの際など認定マークを併せて移動させたりなどご負担をおかけしており、改めてご協力いただきありがとうございます。

24Pに進みます。6月は、野菜1品をプラスして1日の目標摂取量に近づけようという取組をいたしました。セブン-イレブン様、ファミリーマート様、イトーヨーカドー和光店様、ご協力いただきありがとうございました。様々なところからポップ見たよ、などの情報が個人的にも届いておりまして大変うれしく思います。

先ほどの資料にもあったとおり、野菜の摂取量はかなり低い結果となっておりますので、来年度も継続し、皆様には実施と周知の面でご協力をお願いしたく考えております。どうぞよろしく願いいたします。

25P、26Pには食育推進店・認定マークの認知度についての調査結果になります。推進店については令和元年の調査結果から10%ほど、認定マークについては15%ほどこの5年で認知度が増加しております。また、周知の意味も含め、小中の食育アンケートでも質問したところ、意外と大人より小学生の認知度がどの世代よりも多い結果となりました。子どもから大人に伝えてもらえるといいな、、、という願いも込めて、今後もアンケートなども利用しながら、幅広い世代に周知していきたいと考えております。

コロナ禍でイベントなどできない時期には、構成員の皆様にはチラシの配布など周知にご協力をいただきましたおかげで認知度がぐんと上昇したと感じております。改めて感謝申し上げます。

27Pをご覧ください。7月にはわぴあ夏祭りと共同で健康フェアを開催しました。食育は児童センターのスペースをお借りして、親子を対象とした内容にしました。メインの1日分の野菜を実際に計ってみるというブースでは、実際に食べている量と測った量の違いに驚く姿が見られたり、これぐらい食べていた、というお子さんもいらっしやったり、測るということに興味をもち、何回も並ぶお子様も沢山いました。食育推進店であるJA直売センター様にご協力いただき、和光市産の野菜を景品として使用させていただき喜ばれて

いました。子育て世代包括支援センター様にも赤ちゃん休憩室としてご協力いただき、学校教育課、保育センターからは食育に関するレシピや子育て支援の周知にご協力いただきました。

28Pをご覧ください。11月19日はイトーヨーカドー様・セブン-イレブン様にお声がけいただき、彩の国フェアに参加致しました。

イトーヨーカドー様、地場産売り場のコーナーに今も設置していただいているのですが、指で野菜摂取量を計測できるベジメーターを設置していただき、そこで食育推進店の周知チラシや野菜レシピ、減塩減糖レシピなどを配布させていただきました。

29Pをご覧ください。2月19日には、食育の日コラボということで、パパピニョルさんに特別オリジナルレシピを作成いただき、イトーヨーカドー様では、試食も併せてレシピを配布していただきました。クッキングサポートのブースでは、コンソーシアムや推進店の掲示もしていただきました。センター内でもこちらのレシピは大好評でした。試作から実施まで、本当にありがとうございました。本日帰りに外の受付のアンケート提出の所にレシピを設置しておりますので、ぜひお持ち帰りください。

30Pをご覧ください。来年度より食育推進店実施要領を変更し、より飲食店が参加しやすい内容といたしました。皆様のお手元にも要領を配布させて頂いているのですが、普段行かれる市内のお店、知っているお店で、要領に合うような店舗様がありましたら、ぜひわたくしどもまで、教えていただいたり、また、食育推進店の登録を募集しているなど、周知にもご協力いただければ大変ありがたいです。飲食店に関しては、店舗にポスターを貼るのが難しい場合がありますので、こちらに案がありますが、このようなステッカーを採用しようと考えております。

飲食店や販売店など食育推進店を増やし、以前情報共有会で案を出していただいたような食育マップや食育スタンプラリーの実現に向けて進めてまいりたいと考えております。何卒ご協力をお願いいたします。

続きまして、資料2「わびあ食堂 実施報告」をごらんください。

2月に児童センターさんややまぼうしさんなど協働でわびあ食堂を開催されました。そちらについて、児童センターの福家様、ご説明をお願いいたします。スライドはございませんのでお手元の資料でご確認ください。

総合児童センター
福家様

こんにちは。和光市総合児童センター、市民プールの福家と申します。よろしく申し上げます。本日は2月18日に実施させていただきました「わびあ食堂」について皆様に共有させていただきたいと

思います。わびあ食堂のきっかけというのが、「市民の思いを形にしたい」という所からのスタートです。とてもパワーのある市民1名からのスタートでありまして、メインターゲットになるのが家庭が厳しい母子に来てもらいたい、彼ら彼女らを助けたいという気持ちからスタートしました。ですが、まだ始まったばかりの企画だったため、1回やってみてどういう形にするのか、メインターゲットにヒットするのか、まずはやってみようよというのが始まりでした。蓋を開けてみますと50食を準備いたしましたが、すでに開始前に70組以上の方が並んでくださり、一瞬でなくなってしまったというのが事実でした。ですが市民のパワーもあり、野菜の寄付を頂いていたのでそちらを配るということで、並んでくださった皆様に何らかの形でお配りすることができました。今回はやまぼうしさんで調理し、とにかく体にいいものを届けたいという気持ちで50食限定となりましたが、今後に関してはメインターゲットに届けるにはどういった発信がいいのか、調理することがマストなのか、購入するのか、持ち寄り・持ち込みなど、いろいろなやり方で3か月に1度実施していきたいと考えております。もう一点別の視点からみますと、今回ボランティアとして大人の方に30名以上、小中学生のお子さんに15名弱ご参加いただきました。その方々はこういったことをやりたいと手を挙げてくださった皆さんです。そしてDIVAという太鼓チームの方も場所を盛り上げるために来てくださり、食育ではありますが食事以外のところでボランティアで体験を積めたり、賑わうためにダンスや太鼓様々な方々が一緒に集えることで、わびあ含めて和光市が賑わうきっかけになるのではというイメージのイベントでした。以上です。

司会

ありがとうございました。ここまでの事務局からの説明とわびあ食堂でのご報告にご質問はありますでしょうか。

資料31Pをご覧ください。今年度、新しくご参加いただきました事業者様につきまして、ご紹介させていただきます。今年度は新規で5団体様、関係課として2課の加入をしていただきました。

本日ご欠席のYY企画様は、駅前商店ひまわりが閉店したあとも、団体としてご登録いただいておりますが、このたび新たに介護予防事業団体としてご登録いただいております。

また、4月には、先ほどの説明にありましたパパピニョル様が健康に関する情報周知のお店として食育推進店に登録して下さる予定です。それでは、本日ご参加いただいている、3月24日に南児童館で行わせていただく公民館ディスコというイベントに早速ご参加していただく明治安田生命池袋支社 鈴木様、パパピニョル安田

<p>明治安田生命池袋支社 鈴木様</p>	<p>様、地域共生推進課、子ども家庭支援課より、順次一言ご挨拶をいただけますでしょうか。</p> <p>皆様こんにちは。今ご紹介にありました明治安田生命池袋支社 鈴木です。簡単にお話させていただきます。私共は資料がございます色々な自治体さんと健康増進あるいは高齢者、お子様の子育てに自治体と連携してイベントやセミナーをやらせていただいております。池袋支社は資料にありますように、豊島区、板橋区、練馬区、東久留米市さんと締結しております。今回ご縁がありまして和光市さんと今週金曜に締結させていただくことになり、ありがたいと思っております。お手元にあります、わがまちインフォというのは私共が行っている一部で、Jリーグのパートナーの関係でサッカー教室など体育会系の企業でございます。食育、食べ物に関しましては先ほど野菜の話でありましたがベジチェック、血管年齢測定、認知機能などの測定会をやらせていただいております。色々なイベントの際に声をかけていただいたり、それぞれの団体さんと何かしらご縁があつてご協力できればありがたいと思っております。今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>続きましてパパピニョル様お願いいたします。</p>
<p>パパピニョル安田様</p>	<p>皆様、こんにちは。パパピニョル安田です。パパピニョルではアーモンドを専門としたお店でコンソーシアムとしては以前から参加していましたが、今回はけんこうおうえんのお店として登録させていただくことになりとても嬉しいです。今までアーモンドのお菓子となると、やはり減塩・減糖・減脂になかなか適合することが難しく、登録にたどり着くことが難しかったのですが、保健センターの皆様のおかげでこの度登録店になることができました。また2月にイトーヨーカドーの森下さんに沢山協力していただき、ブラウニーのレシピでナッツ・アーモンドを使った栄養価の高いブラウニー、またグルテンフリーの小麦粉を使用しないバージョンの健康に寄り添えるレシピを協力させていただきました。ヨーカドーさんには試行錯誤の上、試食も配っていただくことになりました。今後ともよろしく願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>続きまして地域共生推進課地域福祉コーディネーターの塚本さんよりお願いいたします。</p>

<p>地域共生推進課地 域福祉コーディネ ーター塚本様</p>	<p>皆様こんにちは。社協の塚本ですが、本日は地域福祉コーディネーターの塚本ということで参加しております。市内に9箇所あります小学校、地区社協、地区社会福祉協議会をもとに、子供や高齢者、障害の方あらゆる方がつながれる、あとは住民の方や企業の方も関わられるようなイベントをやったりしています。先ほど福家さんからのわびあ食堂の説明にありましたが、もともとは広沢小学校の地区社協の方々がつながり、一緒にやろうということになりました。7月29日にありましたわびあ祭の際も地区社協として参加したり、どこかで何かあるよという時のつながりが地区社協の役目と考えています。また、3月24日も明治安田生命の鈴木さんもおっしゃっていましたが、スーパー公民館ディスコとしてあらゆる方々がみんな楽しんでよというイベントを開催します。元々は食育には関係のないところからスタートしましたが、運動するなら水分は大事だよ、というところから色々測ってみようとなり明治安田生命さんをご協力してくださることになりました。自分たちの足りないところを誰かが補ってあげれば良いという思いでやっております。</p>
<p>司会</p>	<p>続きまして、子ども食堂の関係や困っているお子様に対する施策に関わる担当課がこの度加わることになりましたので、よろしく願いいたします。</p>
<p>子ども家庭支援課 日野</p>	<p>初めまして。子ども家庭支援課の保健師の日野と申します。子ども家庭支援課は、令和5年度10月に子どもあんしん部に造設された課です。先ほどおっしゃっていたように子ども食堂やヤングケアラーなど子どもの今までどこにも属していなかったことを、これから施策検討していく課となります。子ども食堂の団体が増えてきてまして、「子ども食堂ってどんなところ」というパンフレットを団体に作っていただいたので、周知していけたらいいなと思っております。よろしく願いいたします。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。今年度ご加入・ご加入予定の皆様のお力添えをいただき、今までご協力いただいていた皆様と、さらに地域のつながりや食を通じた地域活動に進めさせていただきたいと思っております。続きまして、来年度の食育の取組について担当より説明をお願いします。</p>
<p>大脇</p>	<p>2月より平原と食育を担当しております、健康支援課の大脇と申します。どうぞよろしく願いいたします。 わたくしからは、来年度の食育の取組についてご説明させていただ</p>

<p>平原</p>	<p>きます。</p> <p>33P をご覧ください。今年行った、食育認定マークの掲示、ちょこっとプラス果物・野菜のポップの掲示、食育推進店チラシでの市民周知、健康チラシの配布による市民への啓発は引き続き継続してまいりたいと考えております。どうぞご協力をお願いいたします。</p> <p>赤字で記載しております「食育イベントの開催」も来年度は積極的に行っていきたいと考えております。</p> <p>34P をご覧ください。こちらのイベントについては、平原よりご説明いたします。</p> <p>前回の会議でも少しお話に出させていただきましたが、来年度は補助金を活用し、イベントを開催する予定です。この補助金は、食生活の改善や食文化に関する意識向上、地場産食材の活用を支援することで、国の食育推進基本計画の目標達成を目指すというものです。推奨される事業内容は、記載のとおりとなっております。</p> <p>35P をご覧ください。来年度の補助金活用については、申請の提出まで期間があまりないような状況でしたので、今年度の情報共有会にて皆様で話し合っていた中からアイデアをいただき、企画しました。対象は小学生で、開催時期は夏休みの期間を利用した7～8月とする予定です。</p> <p>「わこう食育おうえん隊講座」と名づけ、食に関する知識の普及・啓発、地域の伝統的食文化の継承を目的とし、全3回の食育講座を開催をいたします。</p> <p>補助金要綱での推奨される事業内容から、食文化継承と共食の提供、農林水産物、食品への理解向上を選びました。こちらにつきましては、コンソーシアム構成員の方に講師を依頼したいと考えております。この補助金については、令和7年度も続いていくことが見込まれるため、コンソーシアム会議または情報共有会にて、令和7年度のテーマや内容についてご意見を伺いたいと考えております。わたくしからのご説明を終わります。</p>
<p>大脇</p>	<p>36P をご覧ください。残りのお時間で、来年度の食育イベントの企画案について皆様で案を話し合っただけですでしょうか。</p> <p>例として挙げますと、5月25日（土曜日）にみんなのわこらぼまつりが開催されます。こちらは、市民活動推進課が、和光市市民共同推進センターのおまつりとして開催するイベントとなります。現在、行政ブースとしての出店の募集がきています。</p> <p>ただし、お金を徴収したりというのは行政ブースとしては難しいため、その点はご了承いただければと思います。</p>

	<p>こちらについて参加を希望される場合は、来週がメ切となっておりますため、企画と併せてお話いただければと思います。</p> <p>続いて、わびあでのイベント。来年度、どのようなイベントに参加するかはまだ未定なのですが、今年度はわびあ夏祭り与健康フェアを共同開催させていただきました。わびあで開催する場合は、子供向け、親子向けのものとなります。</p> <p>また、11月の市民まつりでの出店も可能です。ただし、わこらぼまつり同様、行政ブースとして出す場合は、販売等は不可となります。それではどうぞよろしくお願いたします。</p>
平原	<p>どのようなイベントが開催できるか、場所なら出せるよなどでも、案を出し合っていたらと思います。</p>
司会	<p>お話は尽きない様なのですが、次に進めさせていただきます。</p> <p>それでは、各課のご担当の方が代表して、各グループで話し合っていたアイデアを発表していただけますでしょうか。来年度以降に参考させて頂けたらと思います。</p>
危機管理室 長谷	<p>北第二包括支援センター・保育施設課・危機管理室のグループということで、高齢者や子ども世代などターゲットを考えながら話し合いをしました。結論として、小学生以上の親子をターゲットとした企画で、具体的に食について考える、身近な食品のコーラやポテトチップス、ファストフードなどの使用している実際の砂糖や脂の量を計量してみる。あとは子ども包丁で食材を切ってみる、身近に触れるような体験ができればいいのかなということを考えてみました。以上です。</p>
司会	<p>ありがとうございました。</p>
総合児童センター 福家様	<p>総合児童センター福家です。このグループでは2つほど案が出ました。1つ目はグループ内にセブン-イレブンさんがいるので、沢山の店舗で何かしたいということで、コンビニスタンプラリーとして、値引きシールを集めて、いっぱい集まったらそれだけ処分前に食べられたという食育につながる、かつ心置きなく値引きシールを取れるという楽しいイベント、というのが1つ目です。2つ目はターゲットはおそらく小学生で、食べ物に愛情を注いで育てるところから販売までの全てを感じてもらおう企画です。種を植えて食べるころまで、またはイトーヨーカドーさんやセブン-イレブンさんで販売、もしくはわびあ内での販売するという企画で、食のルーティンを見</p>

<p>司会</p>	<p>える化できたらいいな、というイベントでした。以上です。</p>
<p>産業支援課 江口</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>こちらのグループは私、産業支援課、包括支援センターの方々と、お子さんに野菜の収穫体験をしてもらう、自分でとった野菜であれば野菜嫌いな子も食べられるという経験が大事だと思いますので、さつま芋を収穫して焼き芋を体験するというものです。昔は落ち葉を集めて焼くということができていましたが、今はそういうわけにもいきません。ですが和光市にはアグリパークという焼き芋ができる場所がありますので、施設の特性を活かして子どもを始め全世代で参加していただいて、自分で収穫して焼いて食べる一連の流れを体験ができればいいかなという企画を考えました。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>和光市高齢社福祉センター横田様</p>	<p>和光市高齢社福祉センターの横田と申します。具体的な話まではいかなかったのですが、コンビニさんではサラダの売り上げが落ちているので有効性をアピールして買っていただきたいということや、福祉の里さんでは今までのことも含めてやっていきたいということや高齢社福祉センターは混み合っていない時間帯もありますので、スペースの提供について話させて頂いたり、駅前広場を活用してイベントするのもいいねというような話ができました。以上です。</p>
<p>地域福祉コーディネーター塚本様</p>	<p>包括・世代・長寿あんしん・地域福祉コーディネーターというメンバーで、高齢者に特化した内容にしようということで、たんぱく質が足りない、減塩や水分を制限したほうが良いなど食事制限がありますが、人によって異なるので、例えば一概に肉の摂取を勧めるわけにもいかないので、まずは10品目が上がりました。この10品目をどうやってイベントにするかですが、チェック項目に対して足りないものがあつたら、例えば牛乳や大豆をもらえるといった都合のいいようなことは無理ですが、10品目入ったサラダや煮物を山口さんが作ってくれたり、、逆にたんぱく質・塩分・水分をとってもらいたい人に絞って、たんぱく質が食品にどのくらい含まれているか知らない人が意外に多いので、一日の必要たんぱく質がとれるメニューをカードゲームみたいにする。なるべくたんぱく質を控えるようなメニューを組み立てる、しかし食べなければいけないというところで、カードの裏を見ると含有量が書いてあり、自分に必要なたんぱく質・塩分量をわかってもらえるようなゲームが出来たらと思</p>

<p>パパピニョル安田様</p>	<p>いました。</p> <p>パパピニョルの安田です。グループ内に鳥飼さんがいらっしゃるので、第一弾はいちご祭りです。いちごは子供から大人まで幅広く支持されている果物ですし、子どもは体験してみることで普段は食べられない野菜が食べられたりする経験も大切かと思いますので、和光市ならじゃが芋堀体験、さつま芋・人参・とうもろこしなど春夏秋冬で旬にあわせた体験ができれば良いです。2つ目は親子で料理教室で和光市産の野菜で池田屋さんのおだしで、減塩減脂のレシピでみんなで食べるという一貫した内容、和光市の伝統食、うどん・まんじゅう・けんちんなどを継承していくものも良いと思います。和光市って何がとれるのかという授業をやったかと思うのですが、人参のカロテンを明治安田さんに計測してもらったり、一つの野菜に特化したイベントができれば、またイトーヨーカドーさんなど多くの方が集まる場所ならみんなで参加して興味を持ってもらえると思いました。以上です。</p>
<p>ベルク飯島様</p>	<p>SDGs や食品ロスについては学校でも勉強していると思いますので、フードパントリーなどのイベントで期限の切れてないものを配布したり、サルベージパーティとって、期限は切れていないが家庭で使用しないものを持ち寄って料理教室を開く、私自身が親子で以前に参加したことがあって、意外と作れて楽しかったので良いかと思いました。2つ目は保育園などで野菜に親しむということで野菜スタンプでエコバッグ作り、食品ロスの観点から段ボールのコンポスト作りなどが上がりました。</p>
<p>ぼけっとステーション山口様</p>	<p>ぼけっとステーションの山口です。無償は難しいですが、子どものアンケートの中に、朝食を作ってもらえない・買ってもらえないというのがあったので、作ってもらえないなら子ども自身が作れる支援、和光的な自立支援につながるのでは。池田屋さんがいらっしゃるので、天然だし・だしパック・顆粒だしで作った味噌汁の塩分を飲み比べて、一番天然だしが少ないということがわかり、その味噌汁の中に野菜や肉を入れて朝食一食作る、というような流れを考えました。</p>
<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。無償なのか有償なのかという問題はありますが、皆様からいただいた内容を元に、来年度の実施計画へと反映し、食育推進に取り組んでまいりたいと考えております。ここで報告なのですが、来年度は健康フェアのような特定の日</p>

かをするのではなく、皆様の様々な健康づくり・食イベントに健康増進センターとして伺うような形をとっていく事業展開を考えております。今回の案に限らず、イベント等がございましたらぜひお声がけください。また引き続きこのようなコンソーシアム会議は継続してまいりますので、皆様の貴重なご意見ご要望を伺いながら、より多くの発言の場にさせていただき、わこうならではの食育の推進、市民の健康増進・疾病予防に向けて、長期的な視点で進めてまいりたいと考えております。引き続きご協力をどうぞよろしくお願いいたします。最後となりますが、細野課長から一言いただきます。

細野課長

皆様、本日は長時間にわたりありがとうございました。

私事ではありますが、4月より異動ということになりました。センターでは2年間お世話になり、コンソーシアム会議に参加させていただきまして、食について考えてきたことは仕事面ではもちろんプライベートでも良い経験となりました。4月からは教育委員会の生涯学習課というところに異動になりまして、講座を行ったりしますので、引き続き皆様にはお世話になると思いますのでよろしくお願いいたします。2年間ありがとうございました。

司会

以上をもちまして会議を終了いたします。会議のアンケートがありますので、ご記入いただくか、メール送ってくださいますようお願いいたします。本日はご出席いただきありがとうございました。

